

学校再編準備委員会(第4回通学・安全部会) 結果概要

■ 開催日時 令和6年12月23日(月) 午後7時から午後10時まで

■ 開催場所 天名公民館 多目的ホール

■ 出席者 【委員】8人

【教育委員会事務局】4人

参事兼教育政策課長

教育政策課副参事兼政策推進グループリーダー

政策推進グループ(2人)

■ 傍聴者 1人

■ 事項

1 開会(教育政策課長挨拶)

2 「新たな小学校」開校に向けたスクールバスの運行について

(1)これまでの取組経緯について【資料1】

(2)運行ルート図(最終案)について【資料2】【資料3-1、3-2】【資料4】

→資料に基づき説明。その後、質疑応答及び意見交換。

≪質疑応答、意見交換≫

○赤ルート【乗降場所(最終案):御園西、徳居町集会所】

特になし

○青ルート【乗降場所(最終案):御園(現:天名小学校学級園)】

(参加者)

- ・ スクールバスの乗降場所について、学級園よりも、天名小学校にした方が安全ではないか。

(教育委員会事務局)

- ・ 前回の部会では、JA 鈴鹿天名支店を提案させていただいたが、その後、地域からの意見、要望を踏まえ、改めて検討を行った。
- ・ 学級園の地権者や県道の管理者である三重県とも調整を行い、乗降場所として設定できる見込みが立ってきたため、学級園を乗降場所としている。

(参加者)

- ・ 学級園の一部を借りることができれば、スクールバスが天名小学校への進入路から県道に出る際に、反対車線に膨らまないのではないか。
- ・ 天名小学校への進入路は、給食センターのトラックや普通車も通行している。
- ・ 天名小学校を乗降場所にできない理由を教えてください。

(教育委員会事務局)

- ・ 天名小学校への進入路は道幅が狭いため、車の対向が難しい。また、生活道路でもあるため、地域住民に影響が出てしまう。
- ・ スクールバスが県道に出る際に、大きく膨らんでしまう。
- ・ 下校時に放課後児童クラブを利用している児童がグラウンドで遊んでいる可能性があり、安全面の確保の問題が生じてしまう。グラウンドの整備も必要となる。
- ・ 閉校後の跡地跡施設の利用方針については、今後検討していくことになるため、こういった利活用となるかが現時点ではわからない。
- ・ 道路を拡幅するとなると、費用も多くかかってしまい、他の地域でもそのような話が出てくる可能性が考えられる。
- ・ 横断歩道を渡るのが危険であるといった部分は、県道の北側を乗降場所として設定し、横断歩道を渡る必要を無くすことで対応している。
- ・ このような事情や、鈴鹿警察、交通事業者からの意見等を総合的に踏まえ、学級園を乗降場所としている。

(参加者)

- ・ 天名小学校閉校後のグラウンド敷地の活用についてはどう考えているのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 来年度、サウンディング型市場調査を実施し、民間事業者のニーズ等を把握したいと考えている。
- ・ 現在の避難所としての機能や施設開放事業は当面の間、利用を考えているが、スクールバスの乗降場所として利用することまでは考えていない。

(参加者)

- ・ 当初から天名小学校を乗降場所にするという案はなかったということか。

(教育委員会事務局)

- ・ そのようなことはない。これまでの経緯を踏まえた総合的な判断として、JA 鈴鹿天名支店に代わる場所として、学校側にある学級園を乗降場所としている。

(参加者)

- ・ 天名小学校が乗降場所であれば、今の見守り体制を変える必要がない。

(参加者)

- ・ 乗降場所が県道に面していない方が安全だと思う。

(教育委員会事務局)

- ・ 安全を確保するため、学級園の用地を乗降場所として検討した。
- ・ 青ルートに乗降場所は1か所のみのため、到着した児童からスクールバスに乗りしてもらおう想定をしている。

(参加者)

- ・ 天名小学校への進入道路を拡幅するという選択肢はないのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 今後、御園町に限らず、児童数の減少による車両の大きさや乗降場所の変更も考えられるため、スクールバスのための大きな整備は難しい。

(参加者)

- ・ スクールバスから降りた後、きちんと学童に行けるか、家まで帰れるか心配である。

(教育委員会事務局)

- ・ 保護者や地域の御協力をいただきながら、どのような見守り体制を構築していくか今後検討していきたい。
- ・ これまでの経緯を踏まえ、様々な検討を行った結果、総合的な判断として、学級園を乗降場所としているため、御理解いただきたい。

○緑ルート【乗降場所(最終案):横知、徳田ふれあい会館】

(参加者)

- ・ スクールバスは徳田ふれあい会館の敷地内で旋回するのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 前面道路の状況や、ごみ捨て場も考慮し、敷地内での旋回を考えている。

(参加者)

- ・ 磯山バイパスの取付道路ができた際には、横断歩道は設置されるのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 担当課に確認させていただく。

(参加者)

- ・ 徳田ふれあい会館の臨時駐車場にスクールバスを停車させると、入口が狭くなるのではないのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 実際に現地を確認した上で、乗降場所としている。

(参加者)

- ・ 磯山バイパスが開通すると、周辺の事情が変わるかもしれない。

(教育委員会事務局)

- ・ 状況に応じて運行ルートや乗降場所の見直しは必要になってくると考えている。

○黄ルート【乗降場所(最終案):合川公民館、北條、長法寺】

(参加者)

- ・ 合川小学校のフレンズの登校班の児童が、スクールバスを利用したい場合はどうなるのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 現在、フレンズの登校班の児童は、保護者が合川公民館まで送迎を行い、そこから歩いて登校しているため、全員が合川公民館から乗車するという前提で乗車人数を算出しているが、今後、個別に意向を確認したいと考えている。

○共通事項

(参加者)

- ・ 登下校時の運行ルートは同じか。

(教育委員会事務局)

- ・ 乗降順が変わるところもあるが、同じである。

(参加者)

- ・ 下校時は各ルート2便の運行となるのか。

(教育委員会事務局)

- ・ そうである。
- ・ 予算の議決を経て、本日の最終案を実現できる予算が確保されたことになるため、乗降場所や運行ルートについては、来年度早々に、地域の方に対して、周知を図っていきたいと考えている。
- ・ 今後は、見守り体制や添乗員、バスの乗降に関する連絡方法等について、地域ごとに検討が必要になると考えている。

(参加者)

- ・ 運行方式や見守り体制について、現時点で考えていることがあれば、教えてほしい。

(教育委員会事務局)

- ・ 運行方式については、事業者への委託を考えている。
- ・ 見守り体制や添乗員の有無については、これから検討していくことになる。
- ・ 保護者や学校の負担が軽減できるよう、欠席連絡やバスの乗降確認が可能なシステムの導入を検討していきたいと考えている。

(参加者)

- ・ システムは、スクールバス利用者に限っての話か。欠席連絡と連動しているのか。
- ・ 複雑な理由があって、学校を休む場合もあると思う。

(参加者)

- ・ 電話でのやりとりを希望するといったような意見があるかもしれない。

(教育委員会事務局)

- ・ 欠席理由はシステムで入力できるようにと考えているが、詳細は検討していきたい。

(参加者)

- ・ 登校時の見守りはできると思うが、仕事の関係もあるため、下校時は難しいと思う。

(参加者)

- ・ 地域だけでは対応できないかもしれない。PTA の協力が必要となるかもしれない。

(参加者)

- ・ 学校も安全面の協力が必要だと思う。

3 今後の検討について

- ・各乗降場所における見守り体制について(各小学校区で実施)
- ・通学・安全部会については、検討状況等を踏まえて適宜開催

4 閉会

以上